

令和5年11月13日

大磯町議会議長吉川 重雄 様

薩摩出身者が占めた駅山側の別荘地旧園田実徳邸 (大磯町大磯字坂田山付2678番の1)、  
石垣保存と記念資料館設立についての陳情書

#### 1 陳情の要旨及び理由

海側の長州出身者が多数を占める別荘地「明治記念大磯邸園」は整備中ですが、駅山側薩摩出身者の別荘地は見過ごされ開発が進んでいます。唯一残る旧園田実徳邸の一部を相模野興行が所有し、現在の石垣を壊し、4メートルから7メートルに及ぶ高さのコンクリート塀の設置を計画しています。駅裏の小道にベルリンの壁同等の高さから始まり、ガザ地区と同じの高さの壁が建つことは、大磯の住環境を破壊し、観光にも不利益となります。園田実徳は、薩摩出身の政治家、実業家で、佐賀の乱では大久保利通の密使となり、西南戦争に参加し勲六等に叙せられました。明治維新後開拓使として北海道函館に渡り、函館船渠、函館電燈所および北海道銀行創業者で、近代競馬黎明期の有力者でもあります。園田氏の長女ノブは、西郷隆盛と妻糸子の嫡男である西郷寅太郎に嫁んでいます。現在は住宅開発されている園田実徳隣地の広大な土地は、薩摩出身で「海軍カレー」でも有名な海軍軍医総監、東京慈恵医大の創設者である高木兼寛男爵が所有していました。さらに、薩摩出身第五銀行頭取であった有村國彦の瀟洒な屋敷と庭園も高木男爵敷地の地続きにありました。(旧茶寮あら井)

大磯には美術館がないため、新たな記念資料館では、資料保存・公開事業だけではなく、大磯ゆかりの作家の展覧会や企画展を行うなど、地の利を活かした観光名所の一つにし、多くの方々が訪れる場所にしていただくことを要望いたします。(平塚市美術館との提携・運営も考えられる)

#### 2 陳情事項

- (1) 町で当敷地を借り、薩摩出身者別荘地跡の石垣及び庭園敷地を守っていただきたい。
- (2) 次の展開：クラウドファンディング等利用し、薩摩出身別荘地跡記念館の設立・運営をしていただきたい。

旧園田実徳邸の石垣を守る会

代表 住所 中郡大磯町大磯898-7  
大枝隆司郎 電話090-1251-9960

松永直美 住所 中郡大磯町大磯916  
小山内仁 住所 中郡大磯町大磯891-8  
大隅良典 住所 中郡大磯町大磯781-10